



「上小タイム」 学びづくり始まる

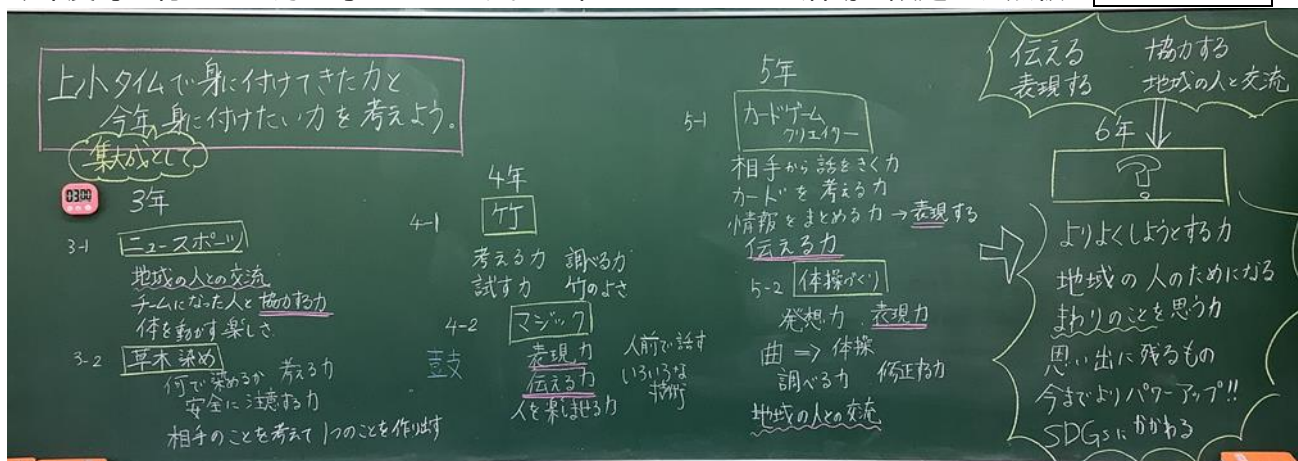
校長 竹下 護

私は毎朝、上大岡駅から歩きながら身体も頭もだんだんとオフからオンへ変わります。学校目の前の120段の階段を上りきると、完全に上小スイッチがオンに。新年度が始まって1か月。そのような習慣ができました。お子様やご家族、地域の皆様は、どのような新年度のスタートとなりましたでしょうか。学校では、新しいランドセルを背負った1年生から、最高学年となった6年生まで、それぞれの今年度の学校生活リズムができているようです。

さて、学校の学習は、各教科等の活動を通して、子どもたちが社会に出ても学校で学んだことを生かせるよう、三つの力「知識及び技能」「思考力、判断力、表現力等」「学びに向かう力、人間性等」をバランスよく育むことと、学校教育目標「ぐんぐん にっこにこ きらきら輝く上小の子」の実現を目指しています。



1・2年生の生活科からつながり、3年生から始まる「上小タイム（総合的な学習の時間）」は、学校教育目標を踏まえ、日常生活や社会との関わりを重視するなどして、各学級や学年で探究していく課題を設定します。下の写真は、6年生が今年度の課題設定をするために話し合ったあとの黒板です。3年生からの「上小タイム」の活動を通して身に付けてきた力をふり返し、集大成としての今年度身に付けたい力を考えています。6年生がどのような活動を設定し、黒板の ? に



当てはまる課題が何になるのか楽しみです。各学年、各学級の「上小タイム」が、どんな力をつけるためにどんな課題を設定したのか、お子様に「今年の『上小タイム』何するの。」などと、ぜひ尋ねてみてください。

「上小タイム」の学習は、保護者や地域の皆様のご理解が欠かせません。子どもたちの思いや願いが込められた「上小タイム」の探究課題についてご理解いただき、そこでつけたい力が一人ひとりの子どもに身に付けられるよう、今後、様々なご支援やご協力をお願いすることになります。よろしく申し上げます。